

<報道発表資料>

令和5年7月12日

全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞した 北本市が知事を表敬訪問します ～2年連続での内閣総理大臣賞受賞は県内で初～

北本市が全国広報コンクールで2年連続の内閣総理大臣賞を受賞し、6月23日に栃木県において表彰式が行われました。それを受けて北本市長等が7月13日（木）に知事を表敬訪問し、受賞報告を行います。

2年連続での内閣総理大臣賞受賞は、県内で初です。また、全国では愛媛県内子町に続いて2例目となります。

1 日時

令和5年7月13日（木） 11時30分～11時40分

2 場所

知事室

3 訪問者

さんぐうゆきお

三宮幸雄

北本市長

ふくしまようすけ

福島洋輔

北本市 市長公室長

やのかわなおと

矢ノ川直登

北本市 市長公室 主幹

あきばめぐみ

秋葉恵実

北本市 市長公室 主任

さもりしほ

佐守志穂

北本市 市長公室 主任

あらいかずのり

新井一徳

埼玉県議会議員

4 受賞作品について

全国広報コンクール 内閣総理大臣賞

広報紙 市部 特選



北本市 広報きたもと（2022年9月号）

特集記事は「第3の居場所」。家庭や学校・職場に次ぐ「第3の居場所」として、市役所芝生広場で開催される定期マーケットや団地での交流場所、古民家を改装したサロン等を紹介している。

紙面の作成を職員が行う完全内製化を導入し、取材した方々の想いがダイレクトに紙面へ反映されている。

選定理由（日本広報協会より）

「居場所」は市民すべてに共通するテーマであり、特に問題を抱える人には重要な課題だ。ほかの地域でも参考にしたくなる「居場所づくり」の実例が、地域住民のリアルな言葉とともに、分かりやすく編集されている。

また、雰囲気伝える写真中心のレイアウトと、しっかり文章で届けるレイアウトのメリハリが感じられる。見出しを追うだけで概要を把握でき、かつ興味をひかれる言葉の切り取り方も秀逸。

十分な取材がされていて、担当者の企画に対する強い意欲や愛着が感じられる点もすばらしい。他に抜きんできた秀逸な作品である。

＜参考＞全国広報コンクールの概要

地方自治体等の広報活動の向上を目的に昭和 39 年から（公社）日本広報協会が主催。広報紙・ウェブサイト・広報写真（一枚写真・組み写真）・映像・広報企画の 5 部門がある。

各部門から特選、入選が決められ、特選受賞団体の中から最も優秀な団体に内閣総理大臣賞が贈られる。

今回の令和 5 年コンクールでは、令和 4 年 1～12 月までに発行、発表、公開、実施されたものが対象。本県からは、有識者による審査等を経て 5 部門に 17 点を推薦。

全国からの応募総数 448 点のうち、北本市が内閣総理大臣賞を受賞。また、ときがわ町、川口市、本庄市も入選。